

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第388号 平成17年4月



『亀 ～海ほたるにて～』 古川朋靖

目

次

	頁		頁
1) 第2回定時総会開催	広報部 … 2	9) 西多摩消化器疾患カンファレンス	
2) 会員の声	蓼沼 翼 … 3		森本 晋・野口 修 … 11
3) 凝り性	川崎健一郎 … 4	10) 文芸随筆諸事百般	
4) 感染症だより	西多摩保健所 … 6	短歌「春の光」	鹿野純 一 … 12
5) 専門医に学ぶ	原 義人 … 7	11) 各部だより	
6) 第3回介護フォーラム報告	原 義人 … 9	学術部インフォメーション	学術部 … 12
7) 医療機能連携推進事業講演会報告		12) 理事会報告	広報部 … 13
	坂本保己 … 9	13) 会員通知・医師会の動き・お知らせ	事務局 … 20
8) 伝言板	広報部 … 10	14) 表紙のことば	古川朋靖 … 23
		15) あとがき	込田茂夫 … 23

平成16年度 西多摩医師会 第2回定時総会開催

平成 17 年 3 月 30 日(水) 第 2 回定時総会がフォレストイン昭和館に於て開催されました。司会は横田総務部長が担当し、以下の次第で進行いたしました。

1. 開 会 宣 言……真鍋会長
2. 議 長 指 名……内山 人 議長を指名
3. 副議長指名……堤 次雄 副議長を指名
4. 資 格 審 査……会員総数 458 名、議場出席者 36 名、委任状出席者 260 名、
出席者 296 名は会員総数の過半数(230 名)以上のため、総会は成立。
5. 物故会員に対する黙祷……故 井村進一会員、故 甲原資秀会員に対し黙祷
6. 開 会 挨 拶……真鍋会長
7. 議事録署名人指名……湯川文朗会員、星野 誠会員を指名
8. 審 議 事 項
 - 第 1 号議案 平成 17 年度事業計画案につき承認を求める件
 - 第 2 号議案 平成 16 年度収支補正予算案につき承認を求める件
 - 第 3 号議案 平成 17 年度収支予算案につき承認を求める件
9. 質 疑 ・ 討 論……質疑なし
10. 採 決……3 案とも賛成多数で承認
11. 議長団降壇
12. 閉 会 宣 言……真鍋会長
13. 閉 会 挨 拶……小机副会長

総会に先立ち、公立阿伎留病院院長 岡田清己先生による「新公立阿伎留病院構想」のご講演が行われました。(ご講演の詳細は 5 月号医師会報に掲載されますのでご期待下さい)

また総会終了後、場を移して懇親会が行われ、会員同士の情報交換を含め、親睦が深められました。



*総会議場出席者(敬称略、順不同)

玉木一弘、岡田清己、佐藤安男、真鍋 勉、横田卓史、原 淳夫、仲野谷祐嗣、細谷純一郎、西村邦康、小机敏昭、原 義人、中野和広、野本正嗣、石井好明、坂本保己、新井敏彦、小林杏一、野村有信、堤 次雄、宮城真理、湯川文朗、内山 大、波多野元久、星野 誠、田坂哲哉、朝岡 博、神尾重則、高村 宏、松原貞一、瀬戸岡俊一郎、木野村幸彦、西成田 進、足立卓三、桑子行正、江本 浩、宮川栄次

次回総会もより多くの先生方のご出席をお願い申し上げます。(文責：広報部 野本正嗣)



僕とテニス

日の出ヶ丘病院 院長 蓼 沼 翼



僕は今年で62歳になりますが、皆さんと同じように、これまでの人生で多くの人やものに出会い、そのことによってその後の人生の方向が変わったという経験をしてきました。

例えば、5年前、僕はビールグラスの収集に、妻はボビンレースの機材を求めてオランダ・ベルギーのツアー旅行に参加しましたが、その際、出会った絵画、例えば、ヤン・ファン・エイクの「神秘の子羊」、レンブラントの「夜警」などに感動し、帰国してから機会があれば美術館巡りをするようになったことが挙げられます。それまでの僕だったら、「美術館？ ケッ」と思っていたことでしょう。

また、美術書も購入するようになりましたが、新刊書は高価なため、もっぱら古書店を歩いています。

同じことがテニスにも言えます。

多くの方々と同じように、僕もテニスを誤解していました。中学校時代、僕は陸上部に所属していましたが、スパイクを履いてグラウンドを走る時に、女生徒と一緒にテニス（軟式ですが）をしている同級生を横目でにらみ、ケッと思ったものでした。

医師になってからは、冬にスキーを楽しむ以外、特にスポーツは行なっていませんでしたが、約20年前、当時勤務していました病院の薬剤師からテニスを強く勧められました（後年、彼の仲人を引き受けることになりました）。

当時の人気ブランドだったプリンスのラケットを買い、フィラのウェアを着て立川市のテニススクールに週1回夜、通い始めました。カタチから入るというヤツです。

以後、病み付きになりまして、一時期スクールには週3回通うようになり、毎月数誌のテニス雑誌を購入し、テニス三昧の日々を送るようになりました。あの頃、夜ビールを飲みながら、プロ選手の分解写真などを見るのがどれほど楽しかったことでしょう。

スクールではイワン・レンドルのまねをして極端なトップスピンボールを打とうとしたり、マッケンローのようなサーブアンドボレーにあこがれたり、バッカーのようにサーブの時に両足を動かさないようにしたり、などなど。

また、東レ・パンパシフィックに出場のシュテフィ・グラフの試合を観戦したり、沢松奈生子が全日本で初優勝した時の試合を観に行ったりもしました。

本もたくさん読みました。中でも村上龍の「快楽のテニス講座」は大変面白く読んだ記憶がありますが、スライスボールの打ち方の項は秀逸でした。

約15年位前、立川市のテニスクラブの会員になりまして、以後毎週日曜日は午前9時から仲間とテニスを楽しんでいます。

病院では血液透析を担当していることもあって、日曜日以外休めず、これが唯一の楽しみだけに、雨になるとがっかりです。

一時期は1日8セット位しましたが、今はゆっくり楽しみつつ、5セットくらいです。

3年前より、勤務が終わってから自宅へ帰る途中、スポーツジムへ寄って、筋肉トレーニングに励んでいます。目的はサーブの強化ですが、インストラクターにトレーニングのプログラムを作成してもらって、月に10回位通っています。効果の程は絶大といっておきましょう。

テニスの何に僕は惹きつけられたのか？

予想以上に激しく全身を使うスポーツであ

(4)

ること、なかなか上達しないこと（逆に言えば、多少とも上達するとその喜びは例えようがありません）、メンタル面の関与が非常に大きいこと、他人と協調して戦うスポーツであること（ダブルスしかしませんので）、セルフジャッジにおいて人間性の一部が出ること（ゴルフに通じる所でしょうか？）、大逆転の可能性がいつもあること（サッカーには残念ながら欠けている点と思います）、費用的には極めて安いこと、などでしょうか。

僕には3人の子供がいて、彼らが大学生の時、長男はバスケットボール部所属でしたが、娘2人はテニス部に入りました。彼女たちの友達を誘って、日曜日の朝6時からテニスを楽しんだのも今となっては懐かしい思い出です。

これからも元気な限り、コート中を走り回ることでしょう。



凝り性

大聖病院 川崎 健一郎

私は凝り性である。一つのことに凝りだすと、数年間、場合によっては十年前後もそのことに熱中して、他のことは一切顧みなくなるのである。多分に偏執狂的な傾向があると思う。それほど一つのことに没頭すれば、一つや二つぐらゐは「モノ」になった物があるだろうと思われるかも知れないが、事實は然に非ずで何一つ「モノ」になった物はないのである。それどころか半人前にもなっていないのが実状である。私はつくづく才能のないのを思い知り情けなく思うのである。でも凝り性にも一つや二つ位は取得^{とろえ}はある。一つは退屈することがないということで、現在夢中になっていることが、いつも頭の中にあるので退屈だなんて感じたことはない。ナポレオンの辞書には「不可能」という字はなかったといわれているが、私の辞書には「退屈」という字は載っていない。もう一つある。これは大事なことで、凝り性のお陰で職業も年齢も性別も住所も異なり、その上利害関係も全くない多種多様の良い知人がたくさんできたことである。これといった財産のない私にとっては唯一の財産で、これはお金で買うことができない貴重な財産だと思っている。

ところで私は今「歴史」に凝っている。余命幾許もない^{いくばく}というのに、いまさら歴史に凝って一体それが何になるんだ、といわれても（自分でもそんな気がしないでもないが）理由は簡単で、ただおもしろいからということである。そんなわけで、今年になってから最新刊の世界史大年表・世界史・中国史そして日本史を購入して毎日読み耽^{ふけ}っている。

西洋史や中国史は古代と中世がおもしろいし、日本史では中世と幕末あたりが一番おもしろい。殊に日本史の場合は、かつては事実が隠されていたが、現在では真実が記述されているのでいっそうおもしろく読むことができる。むかしの歴史書は記述の仕方が生硬で無味乾燥といった感があったが、最近ではその点でも表現方法が巧みで、物語り風でまるで小説を読んでいるような気持ちで読み進めることができ、時の経つのも忘れる程である。

ところで現在NHKが大河ドラマ「義経」を放映しているが、後白河法皇や頼朝がどんな形で（どんな解釈の仕方）で）ブラウン管に登場してくるのか、その点に私は注目している。その理由は、私はこの二人は大嫌いだからである。頼朝は法皇を「狸」といったらし

いが、とすれば頼朝は「狐」であろう。

まずは後白河法皇について。「保元の乱」の時、後白河法皇はまだ天皇だった。この乱はいわば皇室同士の争いで、後白河天皇対崇徳上皇の争いだった。その時源義朝と平清盛は一緒になって天皇方につき、上皇方についたのは、源義朝の親と兄弟の為義と為朝だった。戦いの結果は、先手を取った天皇方の勝利に終り崇徳上皇は配流、源為義は斬罪、為朝は伊豆大島へ流罪となった。ここで注目すべきことは、源義朝にすれば親兄弟を失ったこと、平清盛は仲の悪かった叔父の平忠正を処刑するだけで済み、平家一族を温存することができたことである。さて保元の乱後の恩賞に不満を持った源義朝が「平治の乱」をおこすのだが、この時には後白河はすでに上皇になっており、一時義朝に閉じ込められたが、清盛の機略によって難を逃がれ、義朝と長男の義平は殺され、頼朝は伊豆に流され幼ない今若、乙若、牛若はそれぞれ寺に預けられることになったのである。そのような経験をした法皇だったが、清盛の勢力が強くなると木曾義仲と組んで清盛を追放し、義仲が京都で暴れると今度は頼朝と組んで義経に義仲を敗走敗死させ、義経が平氏を滅亡させると義経を寵愛して頼朝追討の院宣を下したかと思うと、その直後には頼朝に対して義経追討の院宣を下すということをした人である。普通の心を持った人間にはできないことである。法皇は切っても赤い血は出なかった冷たい人間だったと思う。さて次は頼朝である。伊豆で挙兵した頼朝が敗けて安房へ逃れた時、二万騎を従えて急場を救ってくれた大恩人の上総介広常に、豊壤の地常陸を手中に収めんとしてその広常に命じて佐竹義昌を騙し打ちで殺害させた後、次にはその広常も殺し、平家を滅亡させた大功労者の義経も藤原泰衡に殺させ、さらに、弟の源範頼も伊豆の修善寺に幽閉して殺してしまう。といったことを平気でやる人間である。頼朝もまた後白河法皇と同じで、切っても赤い血は出なかったであろう。

役に立つ間は使えるだけ使うが、目的を果たせばポイ捨てということを平気でやったのがこの二人である。中国のことわざに「飛鳥

つ尽きて良弓蔵れ、狡兎死して走狗烹らる」というのがあるが、忠実な獵犬を烹たのは後白河法皇であり、源頼朝だと思う。だから私は恩を仇で返すようなことをしたこの二人は許すことはできないのである。

さて、過去数千年の歴史を辿ってみて、どうしても判らないことがある。一人ひとりの人間は誰でもみんな「自由と平和」を望んでいるのに、宗教とか民族とか国家といった集団になると、どうして対立したり抗争するのか？ 自由と平和を望んでいる個人が集団を構築しているのだから、集団となっても平和が維持されても良い筈だが、そうは問屋が卸さない、というのが過去数千年の歴史が示している。つくづく思うには、地球の裏側の出来事も茶の間のテレビで同時に見ることのできる現代の人間よりも、太古の時代の「原始共同社会」に生きていた人たちの方が幸せだったのかも知れない、と思う今日この頃である。

おわり

あとがき

「歴史は繰り返す」といわれているが、陳舜臣は「同じ歴史が繰り返されることはない。ただ、同じパターンが繰り返されるのである」と言っているが私もそう思う。寄せては返す波も一つとして同じ波ではない。しかし風の時には風のように、しけ（時化）の時には「しけ」のように同じパターンが繰り返されるのである。だから、古今東西の歴史に通暁している人には、これはあの時のパターンと同じだ、あれはあの時のパターンと同じだということが判断できて、すばやく適切な対処ができるので、失敗しないか、たとえ失敗しても被害を最少限にとどめることができる。歴史を学ぶことの重要さは、その点にあるといえる。

歴史に通暁していない人は、政治家としては失格である。政治家の品定めをする時には、その人格と同時に、歴史に対する造詣がどれだけ深いか、ということを見極めることも大事だと思う。決して「口先き」に騙されてはならない。

感染症だより

<全数報告>

第8週(2.21～27)から第11週(3.14～20)のあいだには、1件も報告はありませんでした。

2005年になって西多摩保健所に報告があった全数報告対象の感染症は、四類感染症のつつが虫病1件で、総数は1件です。

<定点からの報告>

	8週 2.21～27	9週 2.28～3.6	10週 3.7～13	11週 3.14～20	2005年 累計
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0
インフルエンザ	505	327	225	117	2,940
咽頭結膜熱	2	1	2	0	12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	6	2	9	68
感染性胃腸炎	48	22	33	22	417
水痘	3	1	1	5	46
手足口病	0	0	0	0	3
伝染性紅斑	0	1	2	0	18
突発性発しん	2	0	0	2	22
百日咳	0	0	0	0	0
風しん	0	0	1	0	1
ヘルパンギーナ	0	0	1	0	1
麻しん(成人以外)	0	0	0	0	1
流行性耳下腺炎	9	8	9	13	112
不明発疹症	0	0	0	0	0
MCLS	0	0	0	0	0
合計	582	366	276	168	3,641

<コメント>

- ・インフルエンザは、第7週をピークに減少に転じた。西多摩保健所管内の流行は、都内でもトップクラスで推移している。
- ・高齢者施設でのインフルエンザの流行が3月になっても起こっている。B型が多い様子。予防接種を受けていても発症しているが、発症状況に差異がみられる。
- ・第10週にあきる野市の定点より風疹の報告が1件あった。8歳の女児。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が続いている。例年春から初夏にかけて報告が増えるので注意が必要。

<改訂版「ノロウイルス対応標準マニュアル」が完成>

東京都では、1月に社会福祉施設等でのノロウイルス感染症・食中毒の発生を未然に防止するため、施設における衛生管理対策の基本となる「社会福祉施設等におけるノロウイルス対応標準マニュアル」を発表しましたが、このたび内容を充実させた改訂版を作成しました。資料編が加わり、より参考になると思います。

福祉保健局ホームページに全文が掲載されますので、是非ご活用ください。

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shokuhin/micro/noro_manual.html

<「健康西多摩21－ほけんじょだより－」で、海外旅行と感染症を掲載>

ほけんじょだよりの第2号が発行されています。今回は海外旅行での感染症を取り上げました。また花粉症の特集もありますのでご覧ください。

感染症発生動向調査(サーベイランス)へ、忌憚のないご意見をお寄せください。

(文責：西多摩保健所保健対策課感染症対策係)

専門医に学ぶ 第4回

問題

【症例】26歳 女性

【主訴】前頸部腫瘍

【家族歴】特になし

【既往歴】幼児期よりアトピー性皮膚炎

【生活歴】アルコールは機会飲酒程度、喫煙なし、職業は会社員（事務職）

【現病歴】平成16年6月頃から右前頸部に「しこり」があることに気が付いていた。痛みや圧迫感などの症状はなかった。同年7月28日当院総合内科受診。9月10日当科初診。

【理学所見】160cm、48kg、血圧102/68、脈拍72/m、整、体温36.8℃

右甲状腺部に2.5×2.0cmの腫瘍を触知。表面平滑、弾性軟、周囲との癒着や圧痛なし、リンパ節も触知せず。甲状腺の他の部位には異常なし。また、甲状腺機能異常を疑わせる臨床所見もなし。

【検査所見】

血算・生化；異常なし、CRP；0.04 mg/dl,

●甲状腺関連検査；TSH 1.7 μ U/ml (0.4–4.0), FT3 3.2 pg/ml (2.2–4.1),

FT4 1.5 ng/dl (0.8–1.9), サイログロブリン 1,538 ng/ml (0–30), 抗TG抗体 0.3以下 (0.3以下), 抗TPO抗体 0.3未満 (0.3未満), TSHレセプター抗体 7.3 % (–10～+10%)

●甲状腺超音波検査（図1、2参照）；甲状腺右葉に19×15×27mmの腫瘍有り。整円形、境界明瞭、辺縁整。内部エコーは低く、充実性で、一部に高エコーがみられるが、ほぼ均一である。甲状腺左葉には異常なし。

図1



図2



甲状腺エコー

図1が横断面、図2が縦断面。
右葉に境界明瞭、辺縁整の腫瘍が見られる。所見の詳細は本文参照。

（問題1）どのような疾患を疑いますか？（二つ選択）

1. 甲状腺腺腫
2. 甲状腺癌
3. 腺腫様甲状腺腫
4. バセドウ病
5. 橋本病

（問題2）次の一手はどれが最も有用でしょうか？（一つ選択）

1. 放射性ヨードあるいはテクネシウムの甲状腺シンチグラム
2. 頸部のCT
3. 頸部のMRI
4. 頸部軟線エックス線撮影
5. 甲状腺穿刺吸引細胞診

解答と解説

青梅市立総合病院 副院長 内分泌代謝科 原 義 人



(解答) 問題 1 : 1 と 2、問題 2 : 5

(解説) よく見られる結節性甲状腺腫の症例です。びまん性甲状腺腫の場合はバセドウ病や橋本病が疑われますが、結節性甲状腺腫の場合は腺腫、囊腫、腺腫様甲状腺腫、悪性リンパ腫、癌などが考えられ、良悪の鑑別が最も重要となります。

本例では触診所見でもエコー所見でも良性疾患が示唆されました(表1参照)。しかし、念のため甲状腺穿刺吸引細胞診を施行したところ、驚いたことに細胞診の結果はClass Vでした。なお、CTやMRIは気管や周囲との関係を見るのには有用ですが、癌を診断する決め手にはなりません。また、サイログロブリンが異常高値でしたが、これも良悪の鑑別には使えません。タリウム・シンチグラムは良悪の鑑別には有用ですが、今回は施行しませんでした。その後、外科にて切開生検を施行し、悪性が再確認され、手術を施行しました。病理結果は、「甲状腺乳頭癌。2 cm 径の線維性被膜に覆われた腫瘍で、中分化の乳頭癌で、一部に小濾胞を形成する。リンパ節転移なし。」でした。

臨床的に良性と思われるでも、特に充実性の腫瘍の場合は、必ず細胞診を行う必要があることを痛感させられた貴重な症例でした。この方の予後は非常に良好と考えられます。

表1 甲状腺腺腫と甲状腺癌の臨床的特徴の比較

	甲状腺腺腫	甲状腺癌
触診所見	軟～弾性硬、整円形、周囲との癒着なし	硬、不整形、気管や周囲との癒着あり
エコー所見	充実～一部囊腫状、エコーレベルは種々、均一	多くは充実、時に一部囊腫状、エコーレベルは低く、内部に石灰化像を伴う、不均一
甲状腺機能	正常	正常

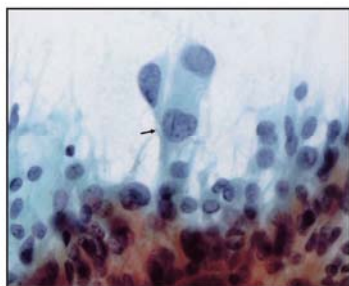


図3 細胞診：
腺癌細胞，Class V，長軸方向に核の縦溝(nuclear groove)(矢印)を形成

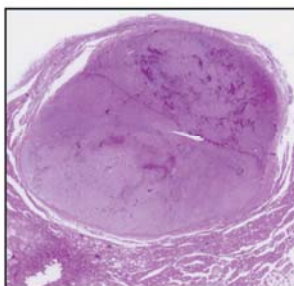


図4 手術標本：
径2 cm の線維性被膜に覆われた充実性腫瘍

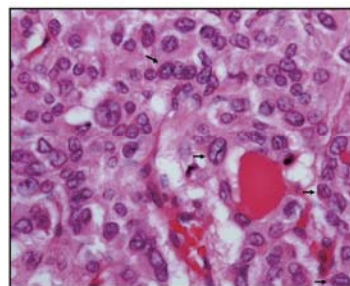


図5 手術標本強拡大：
中分化型乳頭癌で，一部に小濾胞を認める。
核の縦溝(nuclear groove)(矢印)

第3回介護フォーラム報告「考えよう！医療と介護の連携を」

平成 17 年 3 月 11 日（金） 会場 あきる野ルピア（ルピアホール）

西多摩医師会主催、西多摩地区病院会共催で盛大に開催された。企画の中心は病院部ならびに大久野病院の進藤晃先生で、運営には多数の各病院職員・施設関係者が参加した。会は最初以西多摩医師会会長真鍋勉先生のご挨拶で始まり、その後、老人病院情報センターの川添みどり氏が「最期まで自分らしく生きる」と題して基調講演を行った。お話の中でも長期療養病床や各種介護施設の具体的現状の紹介は大変役立つものであった。その後は、4 人のパネラーの講演があり、1 番目は公立阿伎留病院の岡田清己院長で、病診連携、介護保険意見書、認知症、機能性尿失禁などについてお話があった。2 番目はシルバーライフ所長・介護支援専門員の大山弘一郎氏から、「医療と介護の連携について」のアンケート調査結果が発表された。病院の医師は意見書を書くのが遅く困っているなど、耳が痛い話や切実な回答が多くみられ、今後改善すべきことが山積している現実が露わになった。3 番目は梅の園訪問看護ステーション所長・保健師の窪川眞佐美氏で、訪問看護ステーションを上手に利用するためにと題してお話があった。4 番目は大久野病院リハ科長・理学療法士の長田好広氏から、訪問リハビリテーションの紹介があり、最近その需要が増加しつつあるとのことであった。パネルディスカッションは時間の関係で省略され、質疑応答の後、西多摩地区病院会会長の高木直先生から閉会のご挨拶があつて終了した。市民も含め参加者は約 200 名であった。

（文責：病院部 原 義人）

医療機能連携推進事業講演会の報告

開催日 平成 17 年 3 月 15 日（火）

会 場 青梅市立総合病院講堂

東京都は地域医療システム充実のため平成 7 年よりかかりつけ医機能推進とそれを支援する医療機能連携推進の両事業を開始し、西多摩医師会は都内 12 二次医療圏の一つとして平成 11 年度より医療機能推進事業に参入しました。

平成 16 年度で事業の実施期間が終了し、その区切りにこのたび事業経緯と実績を報告いたしました。併せて和歌山県伊都医師会の医療情報共有バーチャル病院紹介、情報共有と個人情報保護法解説を行いました。

平成 11 年度に地域医療部と病院部の委員で構成される医療連携推進委員会がつくられ、FAX 紹介の書式統一、FAX 送受信集計システム、医師会ホームページ刷新（専門医情報検索、休日診療案内なども追加）などに次ぎ、最終事業として画像情報共有システムが構築されました。

特に情報共有システムの稼動に当たっては中核病院を中心とした会員の協力が欠かせません。連携推進事業は今後も継続されますので、是非とも病診連携前進へのご協力をお願いいたします。

（文責：地域医療連携推進委員会委員長 坂本保己）

伝言板

青梅市医師会学術講演会

日時：平成17年4月18日（月）19：30～

場所：青梅市立総合病院 3階講堂

演題：「OmX：末期糖尿病性腎不全透析治療への新たな挑戦」

— 医療費大幅削減を目指して —

講師：青梅市立総合病院 腎臓内科 栗山 廉二郎 先生

＊青梅地区以外の会員の出席も歓迎いたします。

第36回 青梅糖尿病内分泌研究会

日時：平成17年4月13日（水）20：00～

場所：青梅市立総合病院 新棟3階セミナー室

症例提示：大堀医院 大堀 洋一 先生

＊症例をご呈示頂ける先生はFAXで青梅市立総合病院 内分泌代謝科
原先生（FAX 0428-24-5126）までお送り下さい。また当日ご持参頂
いても結構です。

第12回 西多摩心臓病研究会

日時：平成17年4月20日（水）19：30～21：00

場所：公立阿伎留病院

特別講演

「大動脈瘤・大動脈解離に対するカテーテル治療」

埼玉医科大学 心臓血管外科 助教授 加藤 雅明 先生

症例検討 ＊お困りの症例等、お持ち下さい。

第1回 西多摩消化器疾患カンファレンス

日時：平成17年6月24日（金）19：30～

場所：青梅市立総合病院 3階講堂

症例募集について本号11ページをご参照下さい。

『西多摩消化器疾患カンファレンス』立ち上げのお知らせ

平成 17 年 3 月 7 日(月) 青梅市立総合病院にて第 1 回世話人会が開催され、今後の西多摩消化器疾患カンファレンスの運営について協議された。第 1 回西多摩消化器疾患カンファレンスは平成 17 年 6 月 24 日(金)に開催と決定し、当番幹事は青梅市立総合病院の野口先生に、第 2 回は平成 17 年秋頃を予定し、当番幹事は青梅市立総合病院の杉崎先生にお願いした。会則と運営細則が決定された。(会則と運営細則は 5 月号医師会報に掲載いたします)

世話人

青梅市立総合病院	杉崎先生 (外科)	
青梅市立総合病院	野口先生 (内科)	*代表世話人
青梅市立総合病院	細井先生 (内科)	*事務局 (会計)
公立阿伎留病院	柴田先生 (外科)	
公立福生病院	宮崎先生 (外科)	
高木病院	岡本先生 (外科)	
井上医院	井上先生 (青梅市)	
細谷内科医院	細谷医院 (医師会 学術)	*会計監事
大河原森本医院	森本先生 (青梅市)	*代表世話人
横田クリニック	横田先生 (羽村市)	
近藤医院	近藤先生 (あきる野市)	
渡辺医院	渡辺先生 (福生市)	

(文責：森本 晋)

第 1 回西多摩消化器疾患カンファレンス 症例募集のお知らせ

第 1 回テーマ「消化管出血」

西多摩消化器疾患カンファレンスでは、当地区の医師会員の皆様よりご紹介があった症例の入院治療経過を報告することにより、疾患の理解をより深めることを目的に会を発足いたしました。第 1 回目のテーマは「消化管出血」としました。吐血・下血などの症例をご紹介いただいた先生方で、取り上げたい症例がございましたら下記当番幹事まで FAX でご一報ください。

簡単な症例のご紹介をしていただき、その後に治療を担当した施設の医師が入院治療経過をご説明いたします。総合討論やミニレクチャーなども予定しております。多数ご応募いただいた場合には事務局で調整させていただいた上でご連絡させていただきます。

締め切り：平成 17 年 5 月末日

連絡先 (第 1 回当番幹事)：青梅市立総合病院 消化器科 (野口) FAX：0428-24-5126

(文責：野口 修)

文芸随筆諸事百般

「春の光」

福生市 鹿野純

一

この頃は三寒四温で紅白の
桃の花咲く春の光に

孫娘節句の祝いに菓子おくり
字がうまくなったか返事待ちおり

東京は大空襲で人亡くし
母は毎日台所で泣く

草色のうすいカーテン エアコンの
風にゆられて甘い音楽

初めての半身不随の老人に
元気をつける言葉を探す

食欲は大部分ない検査して
老化といわれ喜ぶべきか

病院の青いネオンは寝る頃に
暗い夜空に浮き上り見ゆ

各部だより



学術部 Information



《4月》

学術講演会（西多摩心臓病研究会）のご案内

日時：平成17年4月20日（水）19:30～

場所：公立阿伎留病院 講堂

演題：『大動脈瘤・大動脈解離に対するカテーテル治療』

埼玉医科大学心臓血管外科 助教授 加藤 雅明 先生

《青梅市医師会学術講演会要旨》



平成17年4月18日（月）

演題：「OmX：末期糖尿病性腎不全透析治療への新たな挑戦」
— 医療費大幅削減を目指して —

講師：青梅市立総合病院 腎臓内科 栗山 廉二郎 先生

腎不全透析治療症例は年々増加し、総医療費30兆円の内の1兆円を占めている。現在、透析患者数は24万人（8千人増／年）に膨れあがっている。糖尿病性腎不全透析導入症

例は鰻登で、医療費を圧迫している。血清クレアチニン値が 1.4 mg/dl を超えると、脳、心臓などの血管系のイベントが急増することより、米国では、直ちに腎臓医のコンサルトを受けなければならないとされている。一日 10 ～ 20 g にも及ぶ高度蛋白尿のコントロールは難しく、短期間で腎不全、透析導入となる例が後を絶たない。

透析治療は、腎機能が正常の十分の一以下 (Ccr 10 ml/分以下又は、血清クレアチニン値が 8.0 mg/dl 以上) となった場合に開始する必要がある。

当院では、過去一年半にわたり、透析療法を要する末期腎不全例に対し、腹膜透析 (PD) 希望者に対し、ブドウ糖フリーの新しい PD 液、イコデキストリン (エクストラニール、バクスター社製) 2 L を一日一回使用する新しい治療を OmX (青梅プロジェクト X) と称して施行している。この治療法には様々な利点が認められている。腎不全末期の溢水状態は容易に改善する。糖尿病性腎不全例では、全く改善することがなかった、高度の蛋白尿は OmX 開始後、尿量は維持しながら、減少に転じ、腎機能の長期保持を多数例に認めている。このことは従来見放さざるを得なかった糖尿病性腎不全 (腎症) の治療に変革をもたらしつつある。本治療では、新しいカルシウム拮抗薬であるアゼルニジピン (カルブロック、三共社製) により、従来の CAPD ではなし得なかった、体液のコントロールが極めて容易に出来る様になったことを挙げる事が出来る。OmX は通常の透析治療より格段にコスト減が得られ、医療経済に貢献してきている。将来的には、透析治療のスタンダードな初期治療となるものと確信している。本日は症例を交え本治療法の有用性を呈示したい。

● 理事会報告 ●

★ Information ●

2月定例理事会

平成17年 2月22日(火)

西多摩医師会館

〔出席者：真鍋・小机・横田・新井・伊藤・神尾・瀬戸岡・田坂・野本・松原・足立〕

【1】報告事項

1. 都医地区医師会長協議会報告 (真鍋会長)

(1) 都医からの伝達事項

① 三宅島帰島支援のための義援金の募集について

未だ住める環境ではない、医療体制も不十分、500 円 (会員 1 人) 都医が集める。

② 入退会・異動に係る各届出書の様式変更及び送付について

③ 個人情報保護法について

検討中（日本医師会より連絡あり）

④ 三位一体の改革による厚生労働省関係補助金等の税源移譲について

税源が自治体に移譲される。

⑤ 学校における結核健康診断のツベルクリン反応検査の対象者について

マニュアル通りに施行するように通達したが、医師会としても協力してほしい。

⑥ 東京都医師会主催第3回「指導医のための教育ワークショップ」の開催について

2. 地区救急担当理事・指定二次救急医療機関代表者合同連絡会

2月9日（水）東京都医師会にて。高木病院 岡本院長出席、当地区では7医療機関が指定二次救急を行なっている。

3. 地区医師会介護担当理事連絡会報告（田坂理事）

2月10日（木）都医にて。おたっしや21に到った経緯の説明、ケアマネタイムについてのアンケート調査結果など。

4. 地区医師会在宅難病事業実施協議会報告（酒井理事）

西多摩は17年度 7人×4期に up（16年度は5人×4期）

5. 西多摩地区医療保健衛生協議会報告（横田理事）

① 2月21日（月）羽村保健センターにて。おたっしや21について、福生は65歳以上の基本健診とだき合わせで行う。

② 羽村は市が独自に300名程を pick up して行う。

③ 他地区は実施予定なし。

6. 各部報告（各担当理事）

地域医療部：結核予防法改正の緊急アンケート集計報告

3～6ヶ月 17医療機関、6ヶ月以上 8医療機関が参加可能。今後地区毎に行政と協議して決定する。

学術部：パネルディスカッション報告

2月19日（土）テーマ「肺癌」 出席者22名

7. 地区会よりの報告（各地区理事）

青 梅：2月22日 行政との懇談会。

福 生：2月17日 ヘルス委員会 定期予防接種もれの小児への対応を検討。

日本脳炎の個別接種。

基本健診事業での医療機関控用紙がなくなる。

羽 村：2月15日 地区会 おたっしや21に関して行政より説明。

あきる野：2月21日 例会 BCG予診票の変更、PSA健診、“認知症”について。

瑞 穂：なし。

日の出：なし。

8. その他

(1) 西多摩地区病院協議会 45 周年祝賀会報告（会長）

2月16日 フォレストイン昭和館にて 会長出席。

(2) 西多摩三師会市民公開講座開催報告（会長）

2月19日 出席者 174 名と盛会であった。

【2】報告承認事項

1. 入会会員について —— 承認 ——

A会員：安部 学（目白第二病院・福生）

B会員：新町クリニック 1 名

（参考）退会 高木病院 1 名

2. 西多摩保健所結核の診査に関する協議会委員の推薦について（敬称略） —— 承認 ——

神尾 重則 松原 弘明

3. 西多摩保健所感染症の診査に関する協議会委員の推薦について（敬称略） —— 承認 ——

大堀 洋一 松原 貞一 細谷純一郎 田坂 哲哉 佐野 茂男

4. 平成17・18年度東京都産業医の推薦について（敬称略） —— 承認 ——

《事業所名》	《産業医名》
産業労働局・森林事務所	吉野 住雄
商工部	〃
主税局・青梅都税支所	〃
福祉保健局・西多摩福祉事務所	〃
都市整備局・多摩建築指導（事）建築指導第3課	〃
建設局・青梅工区	〃
建設局・西多摩建設事務所	片平 潤一
福祉保健局・誠明学園	森本 晉
水源管理事務所	森本 晉
小作浄水場	丹生 徹

5. 公立福生病院倫理審査委員会委員の留任について（敬称略） —— 承認 ——

真鍋 勉（留任）

【3】協議事項

1. 平成17年度事業計画（案）の承認について ―― 承認 ――
2. 平成16年度から適用された改正消費税の対応などについて
（青梅税務署の調査にともない）（会長）
公認会計士の話を聞き、対応する。
3. 平成16年度第2回定時総会に関して
3月30日（水）フォレストイン昭和館。
3月8日の理事会で最終的に承認されたものを送付する。

3月定例理事会

平成17年3月8日（火）

西多摩医師会館

〔出席者：真鍋・小机・横田・新井・伊藤・神尾・瀬戸岡・田坂・中野・野本・原・細谷・松原・足立〕

【1】報告事項**1. 各部報告（各担当理事）**

総務部：地区医師会個人情報担当役員連絡会（3／4）協議事項で説明。

学術部：第3回西多摩医師会臨床報告会開催について

3月23日（水）青梅市立総合病院にて開催、5演題。

経理部：経理部会報告（2／25）

保険部：生活保護法指定医療機関立会報告（羽村三慶病院）（2／23）

特に問題なし。

病院部：地区医師会病院担当理事連絡会報告（2／25）

○都内の病院の人件費が高い

○個人情報保護法施行について

○医療計画の変更について

2. 地区会よりの報告（各地区理事）

青 梅：3月25日（金）総会予定。

福 生：3月24日（木） ”

羽 村：3月15日（火） ”

あきる野：3月14日（月）例会。

瑞 穂：3月10日（木）総会。町行政との話し合い（来年度事業について）

日の出：なし。

3. その他

地域医療部の行なった結核予防法改正についてのアンケート結果を各地区会に示すので行政との話し合いに利用して協議して下さい。

【2】報告承認事項

1. 入会会員について —— 承認 ——

B会員：青梅坂本病院 1名

2. 平成17年度日の出町立保育園嘱託医の推薦について（敬称略） —— 承認 ——

進藤 晃	大正保育園	湯川 文朗	大久野保育園
進藤 幸雄	さくらぎ保育園	神尾 重則	宝光保育園

3. 平成17年度瑞穂町立小中学校医及び眼科医嘱託の推薦について（敬称略） —— 承認 ——

《学校医》

《眼科医》

瑞穂第一小学校	小林 康光	瑞穂町立小・中学校 7校	奥野 幸雄
瑞穂第二小学校	丸野 仁久		
瑞穂第三小学校	栗原 教光		
瑞穂第四小学校	高水 松夫		
瑞穂第五小学校	高水 松夫		
瑞穂中学校	新井 敏彦		
瑞穂第二中学校	波田野洋夫		

【3】協議事項

1. 平成17年度収支予算（案）の承認について —— 承認 ——

2. 個人情報保護法とガイドライン

3月15日 日本医師会雑誌別刷を参照。

3. 平成16年度第2回定時総会の講演依頼について

「新公立阿伎留病院構想」公立阿伎留病院院長 岡田清己先生

4. 平成16年度東京都医療機能連携推進事業の会計報告（案）について —— 承認 ——

5. その他

○生活保護法指定医療機関指導立会（東京海道病院）3月24日（木）PM1時～
担当は後日決定。

○西多摩医師会定時総会までの日程表

○インフルエンザ流行に伴う注意喚起について
医師会報 3月号にも掲載。

3月定例理事会

平成17年 3 月22日(火)

西多摩医師会館

〔出席者：真鍋・小机・横田・新井・伊藤・神尾・酒井・田坂・中野・野本・原・細谷・松原・足立〕

【1】報告事項**1. 都医地区医師会長協議会報告及び多摩ブロック代議員連絡会報告（真鍋会長）****(1) 都医からの伝達事項****① 個人情報保護法について**

院内掲示と従業員の管理（再度きちんとした契約・誓約をかわしておく）。

② 日本医師会認定産業医制度における研修会の開催について**③ 平成 16 年度生涯教育制度を終了するに当たっての生涯教育申告書の提出について**
4 月 30 日 〆切。**(2) 協議事項**

なし。

(3) 地区医師会からの報告**1. 機密文書処理（カルテ等）について**

（町田市医師会）

カルテを医師会でまとめて処理業者に依頼し、リサイクルに利用する。

2. 都内民間病院の経営状況について

（三鷹市医師会）

地域格差あり。

3. 医師会館の固定資産税額増加について

（足立区医師会）

(4) その他**1. 東京の精神保健福祉（No.46）について****2. 各部報告（各担当理事）**

総務部：三宅島帰島支援のための義捐金 合計 18 件 189,732 円

ご協力ありがとうございました。

医療機能連携推進講演会（青梅市立総合病院）（3／15）

本号 9 ページ参照。

学術部：1）平成 15 年度日本医師会生涯教育制度申告書集計結果報告

平成 16 年度生涯教育申告は一括申告にておこなう 4 月 30 日〆切。

2）第 3 回西多摩医師会臨床報告会について（3／23）

3）4 月 20 日 西多摩心臓病研究会 公立阿伎留病院

病院部：第3回市民介護フォーラム報告（3／11）

本号9ページ参照。

3. 地区会よりの報告（各地区理事）

青 梅：3月25日（金）総会予定。

福 生：3月24日（木） ”

羽 村：4月19日（火） ”

あきる野：3月14日（月）例会。

瑞 穂：3月16日（水）臨時医師会 町長選挙の候補推薦について。

日の出：なし。

4. その他

西多摩消化器疾患カンファレンス（第1回は6月24日（金））を立ち上げる。

本号11ページ参照。

【2】報告承認事項

1. 入会会員について —— 承認 ——

A会員：中村有邦（羽村三慶病院・羽村）

B会員：青梅三慶病院 1名 公立阿伎留病院 1名 あきる台病院 1名

（参考）退会 羽村三慶病院 1名

2. 東京都医師会代議員及び予備代議員候補者の選出について（敬称略） —— 承認 ——

代議員（定員3名）	推薦者指名
真鍋 勉	小机敏昭・横田卓史
小机 敏昭	真鍋 勉・横田卓史
横田 卓史	真鍋 勉・小机敏昭

予備代議員（定員3名）	推薦者指名
神尾 重則	真鍋 勉・小机敏昭
細谷純一郎	真鍋 勉・小机敏昭
新井 敏彦	真鍋 勉・小机敏昭

任 期 平成17年4月1日より平成19年3月31日まで

3. 東京都日の出福祉園産業医推薦について（敬称略） —— 承認 ——

大聖病院 宮川 栄次

4. 平成17年度西多摩地区市町村結核対策委員会委員の推薦について（敬称略）

—— 承認 ——

西多摩医師会代表（2名） 瀬戸岡俊一郎・野本 正嗣
地区学校医代表 佐野 茂男・道又 正達

5. 羽村市立保育園園医の推薦について（敬称略） —— 承認 ——

東 保育園	塩沢 三朗	しらうめ保育園	柳田 和広
西 保育園	関谷進一郎	さくら保育園	山川 淳二

【3】協議事項

1. 平成16年度第2回定時総会について

2. その他

東京都における高齢者生活機能維持・改善支援のイメージ図

会員通知

- 会報
- 宿日直表（青梅・福生・阿伎留）
- 公立福生病院院内医療安全研修会
- 公立阿伎留病院医局講演会
- 義援金募集（三宅島）
- 介護フォーラム（3/11）
- 新潟高齢者インフルエンザの取扱いについて
- 平成17年度都医師会主催「日医生涯教育講座（4月～7月期）」の開催について
- 日医認定スポーツ医制度における各種申請受付期間の通知について
- マンモグラフィ講演会のお知らせ
- 青梅市立総合病院だより
- 平成17年度港区、台東区及び品川区子ども医療費助成制度実施に係るポスター掲示について（依頼）
- 東京都医師会代議員選出の告示
- 東京都医師会学校医会誌・会報
- 公立阿伎留病院医局講演会
- 平成17年度第2回定時総会開催について



医師会の動き

医療機関数 200 病院 29
 会 員 数 458 医院・診療所 171
 A会員 194
 B会員 264

会議

3月8日 定例理事会
 18日 会報編集委員会
 22日 定例理事会
 25日 在宅難病訪問診療（青梅）
 30日 平成16年度第2回定時総会

講演会・その他

3月2日 三公立病院学術講演会
 演題1：「Human PalbovirusB19
 感染症と膠原病・自己免疫
 疾患」
 講師：公立阿伎留病院
 副院長 西成田 進 先生
 演題2：「日本型Dent病をごぞ
 んじですか？」
 講師：公立福生病院
 副院長 松山 健 先生
 8日 保険整備会
 9日 法律相談
 11日 第3回介護フォーラム
 『考えよう！医療と介護連携を』
 ≪基調講演≫
 『最期まで自分らしく生きる』
 講師：老人病院情報センター
 センター長 川添みどり 先生
 ≪パネルディスカッション≫
 講師：公立阿伎留病院
 院長 岡田 清己 先生
 講師：居宅介護支援事業所
 (有)シルバーライフ
 所長 大山 弘一郎 先生
 講師：梅の園訪問看護ステー
 ション 所長・保健師
 窪川 眞佐美 先生
 講師：大久野病院リハビリテー
 ション科長・理学療法士
 長田 好広 先生

15日 医療連携推進事業講演会

- 1.西多摩医師会における連携事業
 の経緯
 地域医療機能連携推進委員会
 委員長 坂本 保己 先生
- 2.医療情報共有による医療連携
 ー伊都医師会における連携シ
 ステムの実際ー
 和歌山県伊都医師会ゆめ病院
 事務長 園田 捷平 先生
- 3.西多摩医師会の医療情報共有シ
 ステム
 久保田情報技研代表取締役
 久保田 俊雄 先生
- 4.医療情報共有と「個人情報保護
 法」
 久保田情報技研CP推進室長
 原田 直久 先生

23日 第3回西多摩医師会臨床報告会

- 1.当院の糖尿病患者診療実績と診
 療体制
 高村内科クリニック 高村 宏先生
- 2.福生地区医師会におけるネット
 ワークの整備の取り組みその3
 熊川病院 田坂 哲哉先生 他
- 3.腹部腫瘍と画像診断
 井上医院 井上勇之助先生
- 4.腹部エコーの実際
 大河原森本医院 森本 晋先生
- 5.身体拘束ゼロをめざして
 (身体拘束廃止への取り組み)
 青梅今井病院 武者 廣隆 先生 他

役員出張

3月3日 16年度地域保健センター連絡会議
 4日 地区医師会個人情報担当役員連絡
 会
 14日 平成16年度都医医療安全担当理
 事連絡会
 16日 多摩ブロック医師会代議員連絡会
 18日 都医会長協議会
 24日 生保指定医療機関指導調査立会

表紙のことば



「亀 ～海ほたるにて～」

東京湾アクアラインにある海ほたるは、様々な動物が訪れるものを迎えてくれます。その中でも個人的に心惹かれたのが、この亀です。とても表情豊かに感じられ、何かを訴えかけているようにも思います。

(永仁醫院 古川朋靖)

あとがき



医療制度をあげるまでもなく、すべてアメリカ式の global standard が優れているとは限らない。日本の風土においては玄関で靴を脱ぐという生活習慣は、tatami 文化の美意識と相まってそれなりに合理性がある。しかしこと医療施設の評価となると大きな失点となるらしい。さらに困ったことがある。盗難である。

最近、私の診療所で患者さんの靴の「履き間違い」が三度起きた。毎回ほぼ同サイズで新品がお古に変わり、しかも何の連絡もないとなると、これは単なる「履き間違い」ではなくりっぱな「犯罪」ということになる。大勢の集まる所では雨傘でも同じことがよくある。サマセット モームに「雨傘の良心」という正当化の心理についての文章がある。「傘の一本くらい。」「うっかり間違えただけ。」という訳だ。しかし残されるものは決まってボロであり、なくなるのは新品でありブランド品である。

結局このケースでは当院よりお詫びし、相当額を弁償し落着した。日医の顧問弁護士によれば院内に掲示をだし、注意を喚起しておけば法的管理責任はないとのことだった。

さて全ての「犯罪」や「失敗」には例外なく言い訳が存在する。「犯罪」はともかくも「失敗」については自分に「雨傘の良心」がないと言える自信はない。

(込田茂夫)

社団法人 西多摩医師会

平成17年4月1日発行

会長 真鍋 勉 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 野本 正嗣

瀬戸岡俊一郎 石井 好明 桂川 敬太 込田 茂夫 坂井 成彦
鈴木 道彦 馬場 眞澄 葉山 隆 細谷純一郎

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

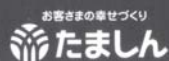
健康が 21世紀の扉を開く



命の輝きを見つめ続けて……
(株)武蔵臨床検査所

食品と院内の環境を科学する
F・S サービス

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 042-964-2621 FAX 042-964-6659



「身近なたましん」が、「その場でたましん」になる。

365日ご利用OK! その場でカンタンお取引き!

「たましんダイレクト」は、電話やパソコン、携帯電話、Lモードを使って、
〈たましん〉とお取引ができるサービスです。窓口やATMに行かなくても、
たましんがその場でご利用いただけます。

**たましん
ダイレクト**

**Tamashin
Direct**

個人向け

たましん〈パーソナル〉ダイレクト

事業者向け

たましん〈ビジネス〉ダイレクト



電話



パソコン



携帯電話



Lモード

<http://www.tamashin.jp> たましん
コールセンター **042-528-0121**

オールワンツーワン

多摩中央信用金庫